

履修の手引き

令和8年度（2026年度）入学生用

獣医学部

この手引きには、学習の計画を立てるため、そして卒業するために必要な情報がたくさん書かれています。

【 内 容 】

- I 科目履修に当たって知っておくべきこと
- VII 共通教育・専門教育について【獣医学部】
- IX 国際教育科目について
- X その他プログラムについて
- XI 関係法規等

※この手引きを読んで、わからないことがあったら
学生センターA棟1F窓口にご相談に来てください。
※この手引きは卒業まで大切に保管してください。



国立大学法人

岩手大学

IWATE UNIVERSITY

令和8年度（2026年度）行事日程

前期	4月	2日（木）		外国人留学生オリエンテーション
		6日（月）		学部新入生学生証等配付
		7日（火）		入学式 編入学生オリエンテーション
		8日（水）		学部新入生オリエンテーション 新入生交流会（新入生歓迎実行委員会主催）
		8日（水）～10日（金）	前期履修申告	
		9日（木）～10日（金）		定期健康診断（学部の令和8年4月入学生） [奨学金]在籍報告 （前年度からJASSO給付奨学金を継続する方）
		中旬		
		14日（火）	授業開始【前期・クォーター（ ）】	
		14日（火）～20日（月）		定期健康診断（学部の令和8年4月入学生以外）
		14日（火）～20日（月）	履修申告訂正	
		30日（木）	水曜授業日	
		5月	8日（金）	月曜授業日
8日（金）～14日（木）	履修申告取消期間			
16日（土）			盛岡・つなぎ間ロードレース大会	
20日（水）			前期授業料口座引落日	
6月	1日（月）		開学記念日	
	8日（月）	クォーター（ ）補講日		
	9日（火）	授業開始【クォーター（ ）】		
7月	19日（金）～25日（木）	クォーター（ ）科目履修申告取消期間		
	21日（火）	月曜授業日		
	29日（水）～8月4日（火）	前期・クォーター（ ）補講日		
8月	中旬		[奨学金]前期授業料免除結果通知	
	7月29日（水）～4日（火）	前期・クォーター（ ）補講日		
	5日（水）～9月30日（水）	夏季休業		
	6日（木）		オープンキャンパス	
9月	8日（土）～17日（月）		全学一斉休業（閉庁）	
	8月5日（水）～30日（水）	夏季休業		
	18日（金）	前期成績発表		
	25日（金）		9月卒業式	
後期	10月	29日（火）～10月1日（木）	後期履修申告	
		9月29日（火）～1日（木）	後期履修申告	
		1日（木）		10月入学式
		5日（月）	授業開始【後期・クォーター（ ）】	
		5日（月）～9日（金）	履修申告訂正	
		16日（金）	全学休講	
	11月	17日（土）～18日（日）		大学祭
		20日（火）～26日（月）	履修申告取消期間	
		18日（水）	金曜授業日	
	12月	19日（木）	全学休講	
		20日（金）	全学休講	[入試]学校推薦型選抜 後期授業料口座引落日
		1日（火）	クォーター（ ）補講日	
		2日（水）	授業開始【クォーター（ ）】	
		中旬		[奨学金]後期授業料免除結果通知
		中下旬		[奨学金]継続願 （次年度もJASSO賞与奨学金を継続する方）
	1月	14日（月）～18日（金）	クォーター（ ）科目履修申告取消期間	
		23日（水）～1月4日（月）	冬季休業	
		28日（月）～1月3日（日）		全学一斉休業（年末年始休業）
		12月23日（水）～4日（月）	冬季休業	
		12月28日（月）～3日（日）		全学一斉休業（年末年始休業）
	2月	12日（火）	月曜授業日	
		13日（水）	金曜授業日	
		14日（木）～15日（金）	全学休講	
		16日（土）～17日（日）		大学入学共通テスト
3月	5日（金）～12日（金）	後期・クォーター（ ）補講日		
	12日（金）	木曜授業日（補講日）		
	19日（金）～24日（水）		入試準備日	
3月	25日（木）～26日（金）		[入試]一般選抜（前期）	
	9日（火）～11日（木）		入試準備日	
	12日（金）		[入試]一般選抜（後期）	
	19日（金）	後期成績発表		
3月	23日（火）		卒業式	
	24日（水）～31日（水）	春季休業		

上記の日程は変更になる場合があります。日程の変更及び令和9年度以降の日程は、アイアシスタントでお知らせします。

試験期間は特に設けませんので、試験については授業担当教員の指示に従ってください。

以下の日は、事務窓口が開いていないため事務手続き等（証明書自動発行含む）は行えません。

土曜日、日曜日、祝日（授業実施日含む）、全学一斉休業日及び入試等により入構できない日

目次

令和8年度（2026年度）行事日程

科目履修に当たって知っておくべきこと

1 大学の目的・教育目標	- 1
2 学期区分	- 1
3 本学の履修科目及び履修時期	- 2
4 授業科目の単位	- 3
5 成績評価	- 4
6 授業時間	- 4
7 時間割表の見方	- 4
8 総合学修支援システム	- 5
9 履修の申告	- 5
10 履修科目登録単位の上限	- 6
11 他学部開講科目の履修	- 6
12 他大学の授業科目履修における単位認定	- 7
13 放送大学の授業科目履修における単位認定	- 8
14 資格試験等による単位認定	- 9
15 ボランティア活動による単位認定	- 10
16 試験	- 10
17 成績評価に異議がある場合の問い合わせ	- 11
18 成績優秀者	- 11
19 卒業時に授与される学位	- 12
20 3年以上4年未満での卒業（早期卒業）	- 12
21 長期履修学生制度	- 12
22 転学部制度	- 12
23 転学科・転課程制度	- 13
24 学部3年次修了者の本学大学院への入学	- 13
25 その他	- 13
参考 学生の修得すべき単位数	- 14
学籍番号	- 14
用語集	- 15
I ⁿ Assistant2.0 & WebClass & I ⁿ Folio	- 16

履修の手引きの訂正等は、アイアシスタントや掲示版でお知らせします。

共通教育・専門教育について【獣医学部】

獣医学部の理念と目標，教育目的	- 1
獣医学部の教育目的，学位授与の方針，教育課程編成・実施の方針	- 1
1 岩手大学獣医学部教育課程規則	- 3
2 学生が修得すべき単位数	- 4
3 共通教育について	- 5
4 専門教育について	- 1 1
カリキュラムマップ	- 1 5

国際教育科目について

1 国際教育科目の理念と教育目標	- 1
2 履修方法および開設授業科目	- 3

その他プログラムについて

1 数理・データサイエンス・AI教育プログラム	X- 1
2 IHATOVグローバルコースについて	X- 2
3 イーハトーヴ協創コースについて	X- 4

関係法規等

- 1 岩手大学諸規則
- 2 関係法令

科目履修に当たって 知っておくべきこと

科目履修に当たって知っておくべきこと

1 大学の目的・教育目標

本学は、国立大学法人岩手大学学則において、次のことを「大学の目的」として掲げています。

真理を探究する教育研究の場として、学術文化を創造しつつ、幅広く深い教養と高い専門性を備えた人材を育成することを旨すとともに、地域社会に開かれた大学として、その教育研究の成果をもとに地域社会と国際社会の文化の向上と発展に貢献することを目的とする。

また、本学では教養教育と専門教育の調和を基本として、次のような資質・能力を兼ね備えた人材の育成を「教育目標」としています。

- (1) 幅広く深い教養と総合的な判断力を合わせ持つ豊かな人間性
- (2) 基礎的な学問的素養に裏打ちされた専門的能力
- (3) 環境問題をはじめとする複合的な人類的諸課題に対する基礎的な理解力
- (4) 地域に対する理解とグローバル化に見合う国際理解力
- (5) 柔軟な課題探求能力と高い倫理性

本学の学生の皆さんは、大学の目的・教育目標に基づき、それぞれ人文社会科学部、教育学部、理工学部、農学部、獣医学部に入学し、卒業するまでの4年間（獣医学部は6年間）に教養教育科目（獣医学部は共通教育科目）及び専門教育科目を履修し所定の単位を修得しなければなりません。

卒業に要する最低修得単位数は、教養教育科目が28単位、共通教育科目が30単位、専門教育科目が98～159単位です。

また、教育学部学校教育教員養成課程以外の学科・課程の学生が教育職員免許状を取得しようとする場合は、さらに教職教育科目を履修する必要があります。

獣医学部では教育職員免許状を取得することはできません。

なお、履修は全て単位制をとり、履修すべき授業科目については大幅に選択制がとられています。したがって、履修科目は、同じ学部・学科・課程であっても各人により異なる部分があります。

この複雑な科目履修制度をできるだけ早く理解し、目的が達せられる計画を立ててください。

ただし、本書の中では一般的な説明が主であるため、細部についてはクラス担任教員や教務担当教員などの指導を受けながら学修内容の全体をよく研究し、学修計画を立てるようにしてください。

2 学期区分

1年間を前期、後期の2期に分け、前期は4月1日～9月30日、後期は10月1日～3月31日となっています。（学則第32条）

3 本学の履修科目及び履修時期

本学の履修科目は、大別すると次のとおりです。

- ・ **教養教育科目**（技法知科目、学問知科目、探究知科目、実践知科目）

教養教育科目は1年次に多く開設しており、2年次、3年次と学年が進むにつれて履修する機会が減少しますので、低年次のうちに修得しておくことが推奨されます。

科目等の詳細については「[教養教育について](#)」を参照してください。

- ・ **共通教育科目**

共通教育科目は獣医学部のみ開設しています。

科目等の詳細については「[獣医学部について](#)」を参照してください。

- ・ **専門教育科目**

専門教育科目は各学部で開設しており、1年次には少なく、2年次、3年次と学年が進むにつれて増加します。科目等の詳細については各学部の項を参照してください。

- ・ **教職教育科目**

各学部（獣医学部を除く）で開設しており1～4年次で履修します。

履修方法は「[教育職員免許状・各種資格の取得方法](#)」を参照してください。

- ・ **国際教育科目**

国際教育科目は、外国人留学生を対象に英語で授業を行う科目ですが、日本人学生も履修することができます。詳細は「[国際教育科目について](#)」を参照してください。

4 授業科目の単位

大学では、授業と、授業時間外における学習（以下、授業外学修）を所定の時間満たすことで単位が認定されます。

端的には、高等学校では授業時間 = 単位でしたが、大学では授業 + 授業時間外の学習 = 単位となります。この授業時間外の単位認定に関わる学習のことを授業外学修と言います。

各科目の単位と必要な学修時間は、授業の種別によって以下の通り定められています。

	種別	授業 (分)	回数	単位	授業外学修 (時間)
教養教育科目 共通教育科目 (獣医学部)	外国語 健康・スポーツ 実習、演習	100	14	1	15
	実験	150	14	1	0
	講義	100	14	2	60
専門教育科目 教職教育科目	実験、実習、実技など	100	14	1	15
		150	14	1	0
		150	28	2	0
		150	42	3	0
		300	7	1	0
	演習	100	7	1	30
		100	14	1	15
		100	14	2	60
専門教育科目 教職教育科目	講義	100	7	1	30
	(グループワークなどが行 われることもあります)	100	14	2	60
専門教育科目 (獣医学部)	実習	135	15	1	0
		135	45	3	0
	講義	45	15	1	30
		(グループワークなどが 行われることもあります)	90	15	2

解説

例えば、教養教育科目の「外国語」は100分の授業が14回で1単位となり、授業以外に計15時間の授業外学修（予習や復習、課題への取り組みなど）が必要になります。また、講義で14回2単位の科目は、授業以外に60時間の授業外学修が必要になります。

授業外学修時間の算出

大学設置基準第21条第2項により45時間の学修で1単位と規定されていることから、単位に応じて授業で不足する時間により授業外学修時間が得られます。本学では授業45分を1単位時間として計算し、標準的な90分（2単位時間）×15回＝1350分（30単位時間）を、100分×14回＝1400分で30単位時間と見なします。2単位科目は90時間の学修を必要としますので、授業時間の30単位時間を引いた残り60時間が授業外学修時間となります。

なお、獣医学部は90分（2単位時間）×15回で30単位時間と見なします。

5 成績評価

成績の評価方法は、試験、報告書、論文及び平常の成績（授業への参加度等）によって行われます。（学則第40条第2項）

成績の評価は、次のとおりです。

評 価		評 点
合格	秀	100点～90点
	優	89点～80点
	良	79点～70点
	可	69点～60点
不合格	不可	59点～0点

なお、各科目の到達目標、具体的な成績の評価方法及び基準はシラバス（講義要目）に掲載されています。

6 授業時間

時限	1	2	3	4	5	6
時間	8:35～10:15	10:30～12:10	13:00～14:40	14:55～16:35	16:50～18:30	18:40～20:20

【獣医学部専門教育科目】

校時	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10	11・12
時間	8:40～10:10 (8:45～10:15)*	10:30～12:00	13:00～14:30	14:45～16:15	16:30～18:00	18:10～19:40

注（ ）*の時間は遠隔講義の時のみ

7 時間割表の見方

（1）教養教育科目

教養教育科目の授業時間割表を熟読し、履修してください。

1年次においては、所属学部学科及び課程毎に履修できる授業科目が指定されていますので、必ずその枠内で履修してください。指定された枠組で履修すれば2年間で教養教育科目の履修すべき単位数を修得できるよう設計されています。

履修申告者が多い場合は、履修を制限する場合があります。

授業時間割表の見方並びに履修について不明な点がある場合は、学生センターA棟番窓口にお問い合わせください。

（2）獣医学部共通教育科目

獣医学部の授業時間割表を熟読し、履修してください。

授業時間割表の見方並びに履修について不明な点がある場合は、学生センターA棟番窓口にお問い合わせください。

（3）専門教育科目

所属学部毎に異なりますので、各学部の授業時間割表を熟読し、履修してください。

授業時間割表の見方並びに履修について不明な点がある場合は、学生センターA棟番窓口または 番窓口にお問い合わせください。

8 総合学修支援システム

本学では、大学での学修を支援するためのさまざまなシステムを利用しています。
(詳細は「[Iⁿ Assistant2.0 & WebClass & Iⁿ Folio \(アイアシスタント2.0 & ウェブクラス&アイフォリオ\)](#)」(- 16 ページ)を参照)

9 履修の申告

学期の初めには、必ず履修申告期間内に履修申告(授業科目の登録)をしなければなりません。申告をしないと授業を受けることができず、単位の修得もできません。忘れずに、必ず履修申告をしてください。

また、集中講義科目の中には、学期の途中に履修申告期間を設定する場合があります。その場合、履修申告の日程等はアイアシスタント等でお知らせします。

なお、前期は5月中旬、後期は10月下旬(学年暦参照)に履修申告をした科目を取り消すことができます(ただし、集中講義科目は原則開講日の2週間前まで)。詳細はアイアシスタント等でお知らせしますが、あくまでも取り消すだけで、他の科目へ変更することはできません。

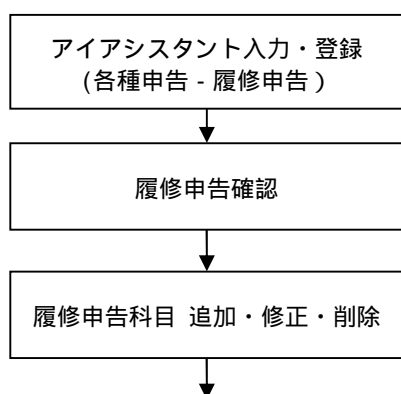
(1) 履修申告する際の注意事項

- ・「授業時間割」、「シラバス(講義要目)」、「履修の手引き」により、履修したい授業科目が自分の学部・学科(課程)・学年の受講対象となっているかよく確認してください。
- ・履修申告する際は、「授業時間割」に記載されている時間割コード(アルファベットと数字の6桁)を、正しく入力しているかよく確認してください。
- ・同じ授業科目でも、担当する教員によって時間割コードが違います。担当教員名を確認してください。
- ・同一時間に複数の授業科目を重複申告することはできません。
- ・履修登録できる単位数に上限があります。上限は、1学期につき24単位(編入学生及び成績優秀者は28単位)までです。詳細は、「[10 履修科目登録単位の上限\(CAP制\)](#)」を参照してください。

(2) 履修申告方法

- ・履修申告は、アイアシスタントから行ってください。
- ・集中講義は開講の都度、履修申告を行います。申告方法は掲示でお知らせします。

アイアシスタントから履修申告(集中講義の申告はできません。)

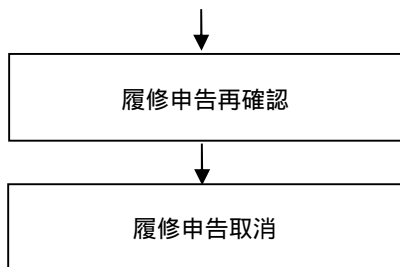


授業時間割表に基づいて、各自で履修計画を立て、**上限単位数を超えないように、履修する全科目をアイアシスタントにある各種申告の履修申告から入力してください。**

履修申告結果は、指定された日にアイアシスタントのMy時間割に表示されます。

各自で「**時限(校時)・科目名・時間割コード**」などが正確に登録されているかを必ず確認してください。

履修申告エラーがあった場合、または科目を追加・修正・削除したい場合には、指定された日までに、再度アイアシスタントにより、履修申告を訂正してください。



指定された日以降は、訂正できません。なお、履修申告の取消しは後述のとおりです。

履修申告結果をアイアシスタントで必ず確認してください。

学修上の理由で履修申告を取消したい場合、指定された履修取消期間に限りアイアシスタントより履修申告を取り消すことができます。

10 履修科目登録単位の上限（CAP制）

授業科目は、1単位当たり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする（学則第38条）とされています。

そのため、授業のみならず授業外学修（予習や復習、課題への取り組みなど）の時間も加味した、無理のない学修計画を立てる必要があります。

本学では、学生が1学期間に履修登録できる単位数を次のとおり定めています。

（関係法規等「岩手大学における授業科目の履修登録単位数の上限に関する規則」参照）

- ・履修登録単位数の上限は、1学期につき24単位までとする。
- ・履修登録単位数の上限の対象科目は、「卒業要件科目」とする。
ただし、卒業要件科目のうち、「集中講義の授業科目」、「教育実習」、「卒業・特別研究」、「いわて高等教育コンソーシアムにおける単位互換科目」、「放送大学における単位互換科目」は対象から除外する。
- ・教育学部学生の履修登録単位数の上限は、1学期につき28単位までになる場合がある。（-21ページを参照）
- ・成績優秀者及び編入学生の履修登録単位数は、1学期につき28単位を上限とする。（成績優秀者については「18 成績優秀者」を参照）
- ・教育職員免許取得希望者（教育学部学生を除く）が履修する教科に関する科目、教職に関する科目及び教科の指導法に関する科目（参照）の登録単位数の上限は、「卒業要件科目」と合わせて1学期につき28単位までとする。ただしこの場合でも、「卒業要件科目」の登録単位数の上限は1学期につき24単位までとする。

11 他学部開講科目の履修

本学では、自分の所属する学部の専門教育科目だけでなく、他学部の専門教育科目についても、一定の条件のもと、その講義を受講し単位を修得することができます。修得した単位については、学部、学科・課程ごとに定める範囲で卒業に必要な単位として認定することができます。

他学部の学生が受講可能な授業科目や受講の条件等については、別途お知らせしますので、アイアシスタント等からのお知らせに注意してください。

1 2 他大学の授業科目履修における単位認定

本学では、多様な授業を受けられるよう他大学と単位互換に関する協定を結びました。講義を受講し単位を修得すれば、卒業に必要な単位として認定されます。

受講には手続きが必要ですので、その都度、アイアシスタント等でお知らせします。

区分	いわて高等教育コンソーシアム	
協定校	岩手大学、岩手県立大学、岩手医科大学、富士大学、盛岡大学、岩手保健医療大学、一関工業高等専門学校	
身分	特別聴講学生	
授業料等	入学料、授業料、検定料は無料 ただし、追・再試験の検定料は受講大学によっては必要な場合があります。	
開講科目	開講校が許可した科目を受講することができます。詳細は、いわて高等教育コンソーシアムの「単位互換」ページで確認してください。	
出願期間	前期：4月上旬 後期：7月上旬～8月下旬	
卒業単位上限	教養教育科目	教養教育科目の選択の単位として認定します。 （獣医学部の共通教育科目は該当しません。） 人文社会科学部： 4単位まで 教育学部： 2単位まで 理工学部： 4単位まで 農学部： 4単位まで
	専門教育科目	学部によって自由選択科目または選択科目の単位として認められます。詳細は、～の各学部専門教育のページを参照してください。

上記の出願期間は予定の期間となりますので、詳細はアイアシスタント等でお知らせします。

1 3 放送大学の授業科目履修における単位認定

本学と放送大学は単位互換に関する協定を結び、放送大学の科目を受講し単位を修得すれば、卒業に必要な単位として認定されます。

受講には手続きが必要ですので、その都度、アイアシスタント等でお知らせします。

身分	特別聴講学生	
授業料等	1科目(2単位) 12,000円 授業料は改定される場合があります。	
開講科目	出願期間前に「開講科目一覧表」を掲示または配付します。	
出願期間	第1学期：1月中旬 第2学期：7月中旬	
卒業単位上限	教養教育科目	単位互換できる科目は出願期間時にお知らせします。 ただし、単位互換科目は、教養教育科目及び専門教育科目両方合わせて30単位までです。
	専門教育科目	

この単位認定制度を利用するには、岩手大学を通して放送大学に特別聴講学生として入学する必要があります。

上記の出願期間は予定の期間となりますので、詳細はアイアシスタント等でお知らせします。

放送大学の特別聴講学生は、テレビ(BS放送)やインターネットで配信される映像・音声の視聴または、本学の附属図書館内にある「放送大学岩手学習センター」において、DVDを視聴しての受講となります。

また、単位互換制度とは別に、放送大学の教材を利用して授業を開講する場合があります。この科目を受講するための授業料は無料ですが、受講する場合には、履修科目登録単位の上限に含まれます。開講については、アイアシスタント等でお知らせします。

1 4 資格試験による単位認定

本学では、資格試験で資格を取得又は一定以上の点数を得点した場合は、申請に基づき単位の認定を行います。単位が認定される資格等の種類、単位数は、下記の表のとおりです。

申請は、学生センター A 棟 番窓口で年 2 回（1 月、7 月）受け付けます。
詳しくはアイアシスタント等でお知らせします。

資格試験	資格	認定科目・単位数		認定単位数の上限	備考
		授業科目	単位		
英検 S - C B T	準 1 級		4	4	最も上級の資格により認定する。
実用英語技能検定試験	準 1 級	英語総合 ・ 、英語コミュニケーション ・	4	4	
	1 級		8	8	
T O E F L (マークシート式677点満点)	500～539点		2	2	
	540点以上	英語総合 ・ 、英語コミュニケーション ・	4	4	
T O E F L i B T (インターネット式120点満点)	61～75点		2	2	
	76点以上		4	4	
T O E I C	600～699点	英語総合 ・ 、英語コミュニケーション ・	2	2	
	700点以上		4	4	
ドイツ語技能検定試験	4 級	初級ドイツ語(入門・発展)	4	4	
	3 級以上	初級ドイツ語(入門・発展)	4	6	
		中級ドイツ語	2		
実用フランス語技能検定試験	5 級	初級フランス語(入門・発展)	2	2	
	4 級	初級フランス語(入門・発展)	4	4	
	3 級以上	初級フランス語(入門・発展)	4	6	
		中級フランス語	2		
ロシア語能力検定試験	4 級	初級ロシア語(入門・発展)	4	4	
	3 級以上	初級ロシア語(入門・発展)	4	6	
		中級ロシア語	2		
H S K (漢語水平考試) H S K I B T (H S K ネット試験)	2 級	初級中国語(入門・発展)	4	4	
	3 級以上	初級中国語(入門・発展)	4	6	
韓国語能力試験	TOPIK (1級～2級140点以上)	初級韓国語(入門・発展)	4		4
		初級韓国語(入門・発展)	4	6	
	TOPIK (3級～6級120点以上)	中級韓国語	2		
「ハングル」能力検定試験	5 級	初級韓国語(入門・発展)	4	4	
	IBT 5 級				
	4 級以上	初級韓国語(入門・発展)	4	6	
	中級韓国語	2			

備考

- 1 認定した単位の評価は、「合」とする。
- 2 申請できる資格試験は、入学後に取得したもので、取得した日から1年以内のものに限る。
- 3 英語科目又はその他の外国語の資格試験において、先に下級の資格で認定を受けた者が、後に上級の資格を取得し願ひ出た場合は、先に認定を受けた単位数を差し引いて単位を認定する。なお、同一言語で複数の資格試験がある場合は、認定単位数の上限が高いほうを上級とみなす。
- 4 「再履修学生」とは、一度でも初級(入門)あるいは初級(発展)を履修した学生をいう。
- 5 T O E F L と T O E I C に関しては、T O E F L - I T P と T O E I C - I P も資格試験の対象とする。

資格試験による単位認定は、履修申告し受講している(した)授業の代わりになるものではありません。よって資格試験による単位認定により、履修申告した科目が自動的に取り消されたり、既に受講した授業の評価が更新されることはありません。

1 5 ボランティア活動による単位認定

本学の学内ボランティア活動で、一定時間数以上の研修、活動参加後、レポートを提出し、その活動が認定された場合は、「コミュニティーサポート実習」1単位が認定されます(各年度1単位までとし、最大2単位まで認定されます)。ただし、卒業要件単位には含まれません。

1 6 試 験

試験時における不正行為

試験において不正行為をすることは、真摯な態度で勉学に励むべき学生として許されない行為といえます。したがって、不正行為を行った者は、訓告処分を受けるだけでなく、不正行為が教養教育科目において行われたか専門教育科目において行われたかを問わず、当該学期の教養教育科目と専門教育科目の**全ての単位が認められません。**

また、通年科目については、不正行為が行われた学期・科目を問わず、当該年度の全ての単位が認められません。

不正行為を行った場合は、留年につながる厳しい処分が科せられます。

1 . 教養教育

試験期間は特に設けませんので、試験については担当教員の指示に従ってください。なお、試験当日の授業回は試験のみではなく、試験と併せて授業(振り返り等)が行われます。

(1) 試験についての注意事項

受験に際しては学生証を必ず持参し、机の上に置くこと。

万一学生証を忘れたときには、仮受験証での受験が認められるが、その場合には試験終了後3日以内に学生センターA棟 番窓口以学生証を持参して確認を受けること。これを怠った場合には、その答案は、無効となる。

原則として、遅刻は認められない。ただし、特別の事情があった場合には、10分程度の遅刻は考慮されることがある。

試験開始後20分間、退室は認められない。

答案用紙の姓名は、インク又はボールペン書きとする。

試験中、机の中には一切持ち物を置かないこと。なお、不正行為の材料となり得る物を持っていたり、机の中に入れていた場合には、それを使用したか否かにかかわらず、不正行為と見なされる。

試験中、不正行為を行った者は、厳しい処分を受ける。

試験中、監督者の指示に従わない者は、退室を命じられる。

申告しない又は正しい申告をしていない科目を受験しても、その答案は無効である。

(2) 追試験について

下記事項に該当する者で追試験を希望する者は、試験終了後、1週間以内に必要書類を添えて学生センターA棟 番窓口に願い出ることができます。

負傷又は疾病 (必要添付書類...医師の診断書等)

天災その他突発事故 (必要書類...その事由を証明する物)

忌引き (必要書類...死亡診断書の写し等)

列車等の遅延 (必要書類...遅延証明書)

その他特別に事情があると認められる場合(必要書類...その事由を証明する物)

願い出のあった者に対しては追試験受験願の理由が正当であり、かつ平素の出席状況が良好であって受験の資格があると認められた者に限り受験を許可します。

2. 専門教育

専門教育科目の試験についても、教養教育科目と同様に試験が実施されます。詳細は、担当教員の指示に従ってください。

1.7 成績評価に異議がある場合の問い合わせ

学期末(成績発表時)にアイフォリオで確認した成績評価が、シラバス(講義要目)の成績評価基準と照らし合わせた結果、成績評価に不明な点がある場合は、学務課経由で授業担当教員に問い合わせを行うことができます。問い合わせは、成績発表後一定の期間を設けますが、詳細はアイアシスタント等でお知らせします。

1.8 成績優秀者

成績優秀者とは、その学期において卒業要件科目を18単位以上修得し、かつ、卒業要件科目の総修得単位数のうち、「秀」および「優」の評語を単位数の点で10分の9以上得て、成績優秀者と認定された者をいいます。

成績優秀者に認定されると、次の学期の履修は、履修科目の登録の上限(1学期24単位)の例外として、28単位まで登録することができます。

なお、編入生の履修科目の登録の上限は、28単位ですので優秀者判定は行いません。

また、2年次後期までの全学期に成績優秀者として認定されると、早期卒業の申請をすることができます。(「2013年以上4年未満での卒業(早期卒業)」を参照)

1 9 卒業時に授与される学位

本学に4年以上(獣医学部は6年以上)在学し、かつ所定の科目の単位を修得した者に対し教授会の議を経て卒業を認定します。

卒業を認定された者には、次の学士の学位が授与されます。

人文社会科学部卒業生		学士(総合科学)	
教育学部卒業生		学士(教育)	
理工学部卒業生	理工学科	化学コース 数理・物理コース 材料科学コース	学士(理工学)
		知能情報コース クリエイティブ情報コース	学士(情報学)
		電気電子・情報通信コース 機械知能航空コース 社会基盤・環境工学コース	学士(工学)
農学部卒業生	食料農学科 生命科学科 地域環境科学科 動物科学・水産科学科	学士(農学)	
獣医学部卒業生	共同獣医学科	学士(獣医学)	

2 0 3年以上4年未満での卒業(早期卒業)

2年次後期までの全学期に成績優秀者(「1 8 成績優秀者」を参照)として認定された者で、4年未満の在学中で卒業を希望する者は早期卒業を申請することができます。

申請が認められ、早期卒業候補者となった後も成績優秀であり、卒業要件の全単位を満たし、卒業研究(最終試験を含む。)の成績が秀または優であるときは、3年次終了時又は4年次前期終了時に卒業することができます。(関係法規等「岩手大学における在学期間の特例に関する規則」を参照)

この制度で卒業が認められると、学士の学位が授与され、大学卒業の資格が得られます。

2 1 長期履修学生制度 獣医学部の学生は対象になりません

職業を有している等の事情により修業年限の4年間での卒業が困難な場合は、この制度に基づき申請し、許可された者に限り、一定の期間(最長6年まで)にわたり履修して卒業することができます。授業料は、修業年限の4年間分を許可された長期履修の期間に合わせて支払うことになります。

希望する場合は学生センターA棟 番窓口に申し出てください。

(申請時期: 2月末日又は8月末日まで 対象: 1~3年次まで)

2 2 転学部制度

入学後に他学部に移る積極的理由を見いだした際に、新たな勉学意識を引き出すため、各学部の選考により転学部が認められる(許可される)場合があります。

申請の時期、方法については、アイアシスタント等でお知らせします。

2 3 転学科・転課程制度

入学後に他学科又は他課程に移る積極的理由を見いだした際に、新たな勉学意識を引き出すため、各学部の選考により転学科又は転課程が認められる(許可される)場合があります。

申請の時期、方法については、アイアシスタント等でお知らせします。

2 4 学部3年次修了者の本学大学院への入学

大学に3年以上在学し所定の単位を優れた成績をもって修得する見込みのある者で、本学の大学院の研究科で受験資格を有すると認められた者は、出願し受験することができます。

これは、研究者として優れた資質を有する者に対して、早期から大学院教育を実施することを目的としているための制度です。

出願に当たっては、指導教員あるいは関係教員と十分相談のうえ決定するのが望ましいです。

(注意事項)

本出願資格により入学する場合は、学部学生の身分を有することはできず、退学して大学院に入学することとなります。したがって、大学学部卒業を要件としている各種の国家試験等の資格試験は、受験できなくなります。

2 5 その他

(1) 大学からの連絡・案内

大学から学生に対する連絡(例えば公示・通知・呼び出し・授業時間割・休講・試験日程あるいは奨学金・授業料免除の申請期日など)は、アイアシスタントや大学構内に設置している掲示板でお知らせします。

そのため、毎日一度はアイアシスタントと掲示板を見るように心がけ、見なかったり、見落としたために、不利益を受けないよう注意してください。掲示板の場所は、『学生生活の手引き』で確認してください。

(2) 気象警報等の発令時における授業等の取扱い

気象警報(暴風警報及び暴風雪警報に限ります。)又は特別警報が発令された場合、本学学生の安全確保のために、授業の休講及び課外活動等が休止となることがあります。詳細については、関係法規等「気象警報等の発令時における授業等の取扱いに関する申合せ」を確認してください。

< 参考 >

* 学生の修得すべき単位数 (詳細は、教養教育 (共通教育)、各専門教育のページを参照) (単位)

学 部	学科・課程	コ ー ス	教養教育 科目	共通教育 科目	専門教育 科目	合 計
人文社会科学部	人間文化課程		28		98	126
	地域政策課程					
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	28		109~ 118	137~ 146
		中学校教育コース			106~ 115	134~ 143
		理数教育コース			109~ 111	137~ 139
		特別支援教育コース			107	135
理工学部	理工学科		28		99	127
農学部	食料農学科		28		98	126
	生命科学科					
	地域環境科学科					
	動物科学・水産科学科					
獣医学部	共同獣医学科			30	159	189

* 学籍番号

学籍番号は在学中のすべての提出書類に記載する8桁の番号であり、次表によって定められています。学籍番号を記入する際には、必ず学生証で確認してください。

* 学部学科等 (3桁)	* 入学年度 (2桁)	* 通番 (3桁)
人文社会科学部 H01 人間文化課程 H02 地域政策課程 教育学部 E01 学校教育教員養成課程小学校教育コース E02 学校教育教員養成課程中学校教育コース E03 学校教育教員養成課程理数教育コース E04 学校教育教員養成課程特別支援教育コース 理工学部 SB1 理工学科 農学部 AB1 食料農学科農学コース AB2 食料農学科食品健康科学コース AB3 生命科学科分子生物機能学コース AB4 生命科学科分子生命医科学コース AB5 地域環境科学科革新農業コース AB6 地域環境科学科森林科学コース AB7 動物科学・水産科学科動物科学コース AB8 動物科学・水産科学科水産システム学コース 獣医学部 VB1 共同獣医学科	入学年度の西暦下2桁となります。 例：2026年入学 = 26 編入学生は、編入した学年の入学年度の西暦下2桁となります。 例：3年次編入生 = 24	個人を特定する番号で3桁となります。 例： 1番 = 001 10番 = 010

(例)

「2026年度入学 食料農学科農学コース99番」の学生の場合は、「AB126099」であり、分解すると、「AB1 = 学部学科等・26 = 入学年度・099 = 通番」となります。

科目を履修する際によく出てくる用語です。覚えておきましょう。

アイアシスタント

インターネットを利用した岩手大学の学修支援システムのひとつです。シラバスの検索・閲覧、履修申告の登録、休講・補講・教室変更の確認などができます。

このほか地震等の災害時に緊急連絡による安否確認が行われます。

インターンシップ

職場の監督下での一定期間の職業経験のことです。学生の専攻分野に関連した業務に関わるものか否か、フルタイムかパートタイムか、有給か無給か、短時間が長期間かなど形態は様々ですが、キャリア意識の涵養、職業的スキル・態度・知識の獲得を目的に実施されています。

CAP制(キャップ制)

履修登録科目数上限制度のことです。授業外学修時間の確保のため、各学生が一学期に履修を申告できる総単位数に上限を設定しています。成績優秀者及び編入学生に対しては、より多くの科目の履修が認められます。(詳しくは -6 ページを参照)

いわて高等教育コンソーシアム

いわて高等教育コンソーシアムは、岩手県内の大学等高等教育機関が連携して、県内の高等教育・学術研究の振興と地域社会の発展に寄与することを目的とした組織体であり、岩手大学、岩手県立大学、岩手医科大学、富士大学、盛岡大学、放送大学岩手学習センター、一関工業高等専門学校、及び岩手保健医療大学で構成し、学生は他校の授業を受講し単位を修得したり、図書館を利用することができます。

集中講義

通常の授業とは別に、特定の期間に集中して行う授業です。休日や夏季・冬季休業中に行うこともあります。履修申告の方法は、その都度アイアシスタント等でお知らせします。

シラバス

各授業科目の概要のことです。授業の目的や各回の授業内容、成績評価の基準や方法、教科書・参考書、教員への相談方法等が記載されています。シラバスはアイアシスタントから見るすることができます。

GPA(ジー・ピー・エー: Grade Point Average)

個々の学生の学業成績を数値化したものです。岩手大学では、各授業科目の履修単位数に成績評価によるポイント(秀 = 4、優 = 3、良 = 2、可 = 1、不可 = 0)を掛けた数字の合計を、履修した単位数で割って算出した値をGPAとしています。

【本学のGPA算出方法】

$$GPA = \frac{\text{「秀」単位数} \times 4 + \text{「優」単位数} \times 3 + \text{「良」単位数} \times 2 + \text{「可」単位数} \times 1 + \text{「不可」単位数} \times 0}{\text{「秀」単位数} + \text{「優」単位数} + \text{「良」単位数} + \text{「可」単位数} + \text{「不可」単位数}} \quad (1)$$

(1)は履修単位数×成績評価によるポイントの合計、(2)は履修単位数

上記の計算式の対象となる授業科目は卒業要件単位に算入される授業科目です。ただし、成績評価がないもの(「合」など)、「保留」となっているものは含まれません。

なお、不可だった授業科目を再度履修して単位修得した場合、再履修による結果でGPAを算出します(再履修による単位修得後は、不可だった初回の履修単位数は分母から除かれます)。

JABEE(ジャビー: Japan Accreditation Board for Engineering Education)

大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを、日本技術者教育認定機構が公平に評価し、要求水準を満たしている教育プログラムを認定する専門認定制度のことです。

ポートフォリオ

学生の学修成果を集め、ファイル等にまとめたもののことです。テストやレポートのみならず、学生の書いた図画や、活動中の写真なども含まれます。本学ではアイフォリオと呼ばれるWEB上でのポートフォリオを使用しています。

履修取消制度

履修登録期間を過ぎた後に、学修上の理由で履修登録を取消したい場合、指定された履修取消期間にアイアシスタントより取り消す制度のことです。取消ができない科目もありますので、アイアシスタント等でよく確認してください。

履修取消の手続きをせずに、履修登録した科目を受講しなかった場合は、その科目の評価が「不可」となり、「GPA算定」や「成績優秀者」判定に影響します。

Iⁿ Assistant2.0 & WebClass & Iⁿ Folio (アイアシスタント 2.0&ウェブクラス&アイフォリオ)

1. Iⁿ Assistant2.0 (アイアシスタント 2.0)

Iⁿ Assistant2.0 (以下「アイアシスタント」という。)は、皆さんの学修を支援するためのシステムです。授業に関するお知らせや大学からの重要なお知らせ、シラバスの確認、履修申告等の様々な機能を有しています。また、WebClass や Iⁿ Folio を利用するための入り口となります。

大学生活に必要なシステムですので、毎日(逐次)利用するようにしてください。

<システムのインストール>

スマートフォン等に「アイアシスタント」アプリをインストールしてください。

[iphone 等版 \(App Store\)](#)



[Android 版 \(Google Play\)](#)



アプリを利用できない場合は、Web ブラウザ版 (<https://ia2.iwate-u.ac.jp>) を利用してください。ただし、Web ブラウザ版にはプッシュ通知で各種お知らせを受け取る機能はありません。

<ログイン>

ログイン画面で「ログイン名」、「パスワード」を入力し、ログインボタンをタップ(初回のみ)してください。

ログイン名は、大学のメールアドレスになります。入学時に、メールアドレスとパスワードが配付されます。

これは、大学の端末室(パソコン教室)のパソコンを使う時のユーザ名、パスワードと同じになります。

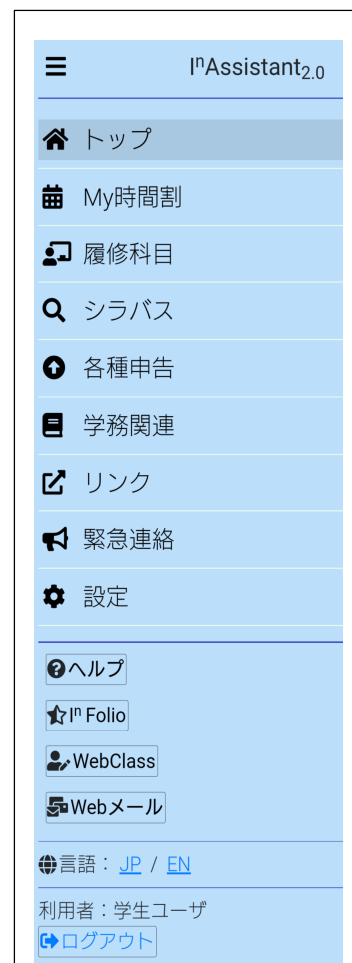
万が一パスワードを忘れてしまった場合は、情報基盤センターに相談してください。

<トップ>

ログインすると、個人専用のトップページが表示されます。

学務関連新着情報には、履修関係(休講、補講、教室変更、その他)、学務部からの各種お知らせ、呼び出しの情報が届きます。また、重要なお知らせや緊急時のお知らせ等もここに届くことになります。

その他の新着情報には、学生生活、学生支援(授業料免除や奨学金等含む)、地域協創教育、キャリア支援、留学に関することや図書館からのお知らせが届きます。



< My 時間割 >

My 時間割には、履修している科目の時間割、開講される講義室等が表示されます。また、授業時間表や1年間の大学のスケジュール等が、学年暦や行事予定表として表示されています。

My 時間割の科目名をタップすると、該当科目の WebClass が表示されます。

< 履修科目 >

履修科目の一覧が表示されます。履修科目のシラバスや LMS ボタンから該当科目の WebClass が表示されます。

< シラバス >

シラバスを検索、閲覧することができます。科目履修に必要な情報が掲載されていますので、履修申告する際は必ず確認するようにしてください。また、当該科目の担当教員に連絡を取りたい場合に必要な連絡先等もシラバスで確認することができます。

< 各種申告 >

各種申告では、履修に必須となる履修申告や、学生本人、保護者の連絡先を登録する住所変更・登録が行えます。また、取得を希望する資格(等)の種類を登録することができます。

< 学務関連 >

履修の手引きや学生生活の手引きをダウンロードすることができます。

< リンク >

関連の機関等のホームページへのリンクになります。

< 緊急連絡 >

災害時等の安否確認等を行うための機能になります。

< 設定 >

各種お知らせのプッシュ通知を受け取る設定や、My 時間割の表示場所を設定することができます。

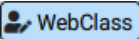
2. WebClass (ウェブクラス)

WebClass (以下「ウェブクラス」という。)は、教材の配付やテスト等、出席確認に利用されます。

その他、各種アンケート等にも利用されます。

< 利用 >

ウェブクラスは、アイアシスタントの My 時間割にある科目名をタップして、利用します。

なお、My 時間割の下の「Webclass のトップページへ」または  をタップするとウェブクラスのトップページにアクセスできます。

時限(校時)	月	火
1	初級フランス語(入門)	
2		経済のしくみ

ウェブクラスでは、授業を「コース」と呼びます。授業でウェブクラスを利用するかは、授業担当の教員によります。

< 教材 >

教材には、教材の一覧が表示され、タイムラインに教材が時系列で通知されます。

< マイレポート >

マイレポートには、提出したレポートのコメントや成績、提出日が表示されます。

< 成績 >

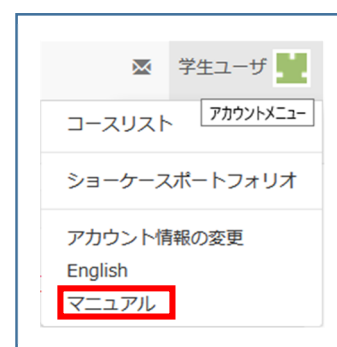
成績では、実施されたテストやレポートの採点結果を確認することができます。

< 出席 >

出席では授業の始めに出席データを送信したり、今までの出席状況を確認することができます。

< マニュアル >

マニュアルは、アカウントメニューからダウンロードすることができます。



3. Iⁿ Folio (アイフォリオ)

Iⁿ Folio (以下「アイフォリオ」という。)は、学位授与の方針(ディプロマポリシー、以下「DP」という。)の達成状況に関する自己評価や取得単位から算出される達成量、さらに学士力(学士課程共通のDP)、学修時間、学修体験に関する自己評価を見える化したシステムです。

< 利用 >

アイフォリオは、アイアシスタントの  をタップして利用します。

< 学生情報 >

学生情報には、所属している学部、学科等のプログラム概要や学位授与方針が表示されます。

< ポリシー >

自己評価：各年度・学期ごとに「学位授与の方針」の達成状況についての自己評価を入力します。

入力しなければ、成績を見ることはできません。

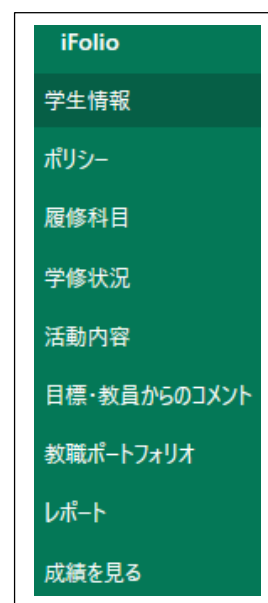
DPグラフ：累積の達成量のグラフが表示されます。

累積達成量：各学期までの取得単位数×DPに対する重みづけから算出された達成量です。

< 履修科目 >

履修した科目について、学修状況を評価入力します。

入力しなければ、成績を見ることはできません。



< レポート >

ウェブクラスの学習記録ビューアが表示されます。

< 学修状況 >

学士力自己評価、学修時間自己評価、学修体験自己評価別の学期ごとの自己評価とそれらのレーダーチャートです。

< 活動内容 >

委員会活動やサークル・部活、インターンシップ、資格・検定等に関して、自身の活動を記録（入力）しておくことができます。

< 目標・教員からのコメント >

学部によっては、学修ポートフォリオの一環として、年度ごとに学生が将来の希望や年間の目標、その成果等を記入し、それに対して教員がコメントを記入する取り組みが行われています。

< 教職ポートフォリオ >

教員免許状を取得するのに必要な資質能力の向上のために利用します。

< 成績を見る >

自身の修得単位、成績の状況を確認することができます。

また、修得した単位の集計表、GPAの値、履修中を含めた科目の一覧が表示されるほか、卒業に向けての単位の充足率（卒業要件をどのくらい満たしているのかを判定した結果）を見ることができます。なお、この充足率は参考の情報となりますので、履修の手引きを参照のうえ、各自で必ず確認してください（修得した単位すべてが卒業要件の単位となるわけではないので、注意すること）。

なお、学期ごとに新たな成績を見るには、前述の各種自己評価を入力する必要があります。

< マイレージ >

国際教育センターで実施している「IHATOVO グローバルコース」、地域協創教育センターで実施している「イーハトーヴ協創コース」のマイレージポイントの状況を確認することができます。

大学メール

入学時に、大学で利用する学生専用のメールアドレス（～@iwate-u.ac.jp）が付与されます。

これは個人へのお知らせ等に利用されるもので、緊急時等にもこのメールのお知らせが届きます。アイアシスタントだけではなく、大学メールも毎日（随時）確認するようにしてください。

共通教育・専門教育について

獣医学部

獣医学部

< 獣医学部の理念と目標 >

* 理念

獣医学部では、人類と動物の健康と福祉に貢献することを基本理念とする。具体的には、地域の要請に応えることが可能な国際通用性のある獣医学教育を実現し、産業動物及び伴侶動物獣医学、家畜衛生などの獣医に関する諸課題に対応可能な人材を育成する。

* 教育目標

上記の理念に基づき、国際獣疫事務局 (WOAH) の提唱する「高品質な獣医療サービスを提供するために必要な獣医学生が卒業時に身につけるべき最低限の資質 (Day One Competency)」をバランスよく修得した獣医師を養成する。

* 研究目標

獣医学部における研究は、国際水準を目指す獣医学研究、特に地域社会と連動した独創的研究を目指す。

* 社会貢献目標

獣医学部は、産業動物臨床、家畜衛生、および伴侶動物臨床の分野での社会との連携を通して持続可能な地域社会の形成に貢献する。また、地球規模と地域の両者に関係する教育・研究課題を解決し、その成果をわかりやすく解説しながら社会に還元していくことを目標とする。

< 教育目的 >

人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念を踏まえ、高度獣医療の提供、人類の健康と食の安全、並びに生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材の養成を目的とする。

< 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) >

共同獣医学科の教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士 (獣医学)」の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 獣医師としての責務を遂行するために、動物の健康・福祉、公衆衛生などに関する高度な専門知識を修得している。

(思考・判断)

2. 獣医学領域に関わる課題について、生命科学を基礎とした知識と技能を用いて論理的に判断できる。

(関心・意欲)

3. 獣医師として国内での責務を果たすのみならず、国際的視野を有している。

4. 地球規模での感染症対策や畜産物の安全確保等に対して貢献できる知識を修得しており、意欲も有している。

(態度)

5. 幅広い専門知識や技能に基づいた説明ができる。

6. 倫理性も備えた行動規範を身につけており、適切なコミュニケーションができる。

(技能・表現)

7. 高度な専門知識に基づいて修得した獣医学領域で必要な技能を実践できる。

8. 論理性と倫理性を兼ね備えた行動規範を身につけている。

<教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）>

共同獣医学科では、獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに基づいた教育課程を実施することに加え、人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、高度獣医療の提供、人類の健康と食の安全、並びに生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を育成することを目的として、以下のカリキュラムを編成している。

なお、教育課程を編成している各科目の評価に関しては、別途定めている「成績評価のガイドライン」に基づくものとする。

（知識・理解）

1．獣医師としての責務を遂行するために、動物の健康・福祉、公衆衛生などに関する高度な専門知識を修得するため、専門科目の履修を必修としている。

（思考・判断）

2．獣医学領域に関わる課題について、生命科学を基礎とした知識と技能を用いて論理的に判断できるように、共通科目の履修を必修としている。

（関心・意欲）

3．獣医師として国内での責務を果たすのみならず、国際的視野を有することができるよう、海外研修などを配置している。

4．地球規模での感染症対策や畜産物の安全確保等に対して貢献できる知識を修得するために、人獣共通感染症や食品衛生関連の科目を配置している。

（態度）

5．幅広い専門知識や技能を身につけるため、各種実習、演習を配置している。

6．倫理性も備えた行動規範を身につけており、適切なコミュニケーションができるようになるため、共用試験の受験を必修としている。

（技能・表現）

7．高度な専門知識に基づいて修得した獣医学領域で必要な技能を実践できるように、総合臨床実習や行政体験実習などの現場での実習を配置している。

8．論理性と倫理性を兼ね備えた行動規範を身につけられるように、獣医倫理や獣医学概論の様な導入科目を配置している。

1. 岩手大学獣医学部教育課程規則

(令和7年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人岩手大学学則第36条第5項及び岩手大学獣医学部規則第11条の規定に基づき、岩手大学獣医学部（以下「本学部」という。）における専門教育（以下「専門教育」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(科目及び単位の修得)

第2条 専門教育における授業科目（以下「科目」という。）及び単位数は、別表第1に定めるところによる。

2 専門教育においては、別表第2に掲げる単位数以上を修得しなければならない。

3 科目の必修と選択の別、履修年次、時間数、履修方法等は、別に定める。

(授業時間割等の公示)

第3条 開講する科目の担当教員、授業時間等は、各学期の開始までに公示する。

2 学期の途中から開講する科目については、その都度公示する。

(履修科目の届出)

第4条 学生は、履修しようとする科目を指定の期間内に学部長に届け出なければならない。

2 前項の届け出をしない者は、単位の認定を受けることができない。

3 第1項の届け出の後には、履修取り消しを認める指定期間内に限り、届け出た科目を取り消すことができる。

(他学部科目等の履修及び他学部学生の履修)

第5条 本学部学生の他学部が開設する科目及び教育職員免許状取得にかかる科目の履修は認めない。

2 他学部の学生による本学部の科目の履修は認めない。

(他大学等での履修)

第6条 学生は、他の大学又は短期大学の授業科目を履修しようとするときは、所定の手続きを経て許可を得なければならない。

2 前項により修得した単位は、別表第2の単位数に含めることはできない。

(試験)

第7条 試験を行う場合は、各学期末に行う。ただし、科目によってはその他適当な時期に行うことができる。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、専門教育に関し必要な事項は、教授会において別に定める。

(規則の改正)

第9条 この規則の改正は、教授会の議を経なければならない。

附 則 (省略)

別表第 1 (第2条第1項関係)

獣医学部専門教育科目表 (省略)

別表第 2 (第2条第2項関係)

学生が修得すべき単位数 (省略)

2. 学生が修得すべき単位数（共通教育及び専門教育）

区 分		修得すべき単位数	
共通教育科目	大学教育導入科目群	2	
	スポーツ健康科目群	2	
	外国語科目群	6	
	人文社会科学科目群	8	
	配置大学特色科目群	理数系基礎	12
		理数系アドバンス	
計		30	
専門教育科目	基礎獣医学科目	基礎獣医学科目群	40
		病態獣医学科目群	25
		応用獣医学科目群	21
	実証獣医学科目	小動物臨床獣医学科目群	34
		大動物臨床獣医学科目群	16
	選択科目	5	
	専修科目	18	
	計		159
合計		189	

3 . 共通教育について

a 獣医学部における共通教育の理念と教育目標

理 念

獣医師には、地球上全ての動物生命の健康と繁栄に責任を負う自然科学としての獣医学を背景とし、論理性および倫理性を兼ね備えた高い行動規範が求められる。共通教育科目は、その基盤となる基礎的知識の習得を求め、多様な領域に対する学問的関心を喚起することで幅広く深い総合的な判断力を培い、獣医師として豊かな人間性を涵養することが目的である。獣医学部における共通教育科目は、「大学教育導入科目群」、「スポーツ健康科目群」、「外国語科目群」、「人文社会科学科目群」、および「配置大学特色科目群」によって構成され、獣医学を学ぶに必要な基礎的知識を習得させるものである。

教育目標

獣医学部では、獣医師として動物と人類の健康と福祉に貢献し、高度獣医療の提供、人の健康と食の安全、生命科学の発展に国際的な視野を持って活躍できる人材を養成することを目指している。したがって、共通教育では、獣医学の基盤となる高等動物の生命科学に対する知識とともに、外国語による情報収集や思考の素養を身に付け、現代の人間と社会の基本的問題や人文社会科学の諸分野の課題について学ぶことで、獣医師として豊かな人間性を養うことが目的である。

b 各科目群の教育目標

(1) 大学教育導入科目群の教育目標

大学教育導入科目群における科目では、大学教育における学業活動の全般のイントロダクションとして協調性や社会性、創造性や自ら問題解決することの重要性について学ぶ。

(2) スポーツ健康科目群の教育目標

スポーツ健康科学群における科目では、社会生活を送る上で身に付けておくべき基本知識や技能の一環として、人間の身体や健康、スポーツに関する正しい知識を学び、自らの体力とその維持増進方法を実践的に理解するとともに、各個人の目的に応じた身体運動やスポーツ活動を実践する能力を習得する。

(3) 外国語科目群の教育目標

外国語科目群では、国際的に広く用いられている英語に関する基礎知識を身に付け、獣医学の関わる自発的な思考や情報の収集・発信を行うための素養を身に付ける。

(4) 人文社会科学科目群の教育目標

・「人文社会科学」の科目目標

人文社会科学科目では、現代の人間と社会の基本的問題および人文社会科学の諸分野の中でも、動物と人類の健康と福祉に貢献する獣医師において極めて重要な内容として、社会ならびに文化が人間にとってどのような意味や機能を持つのかについて考え、現代社会に生きる人間としての「ものの見方・考え方」を養う。

・「持続可能な環境・社会」の科目目標

人間と社会の基本的問題や人文社会科学の諸課題について広く学ぶことは、獣医師として豊かな人間性を養うために極めて有用である。「持続可能な環境・社会」では、「人文社会科学科目」に挙げた基本的な重要科目の他に、多様性に富んだ各種関連科目を学生諸君が自主的に精選し履修することで、現代社会に生きる人間としての「ものの見方・考え方」をいっそう深く洞察する力を身に付けることを目的とする。

(5) 配置大学特色科目群

科目群全体の教育目標

地球上全ての動物生命の健康と繁栄に責任を負い、論理性および倫理性を兼ね備えた高い行動規範が求められる獣医師には、獣医学の基盤となる基礎知識ならびに幅広く深い総合的な創造力、判断力、自己解決能力が求められる。配置大学特色科目群では、上記の共通教育の科目群とは別に学生諸君が主体的に履修科目を精選し、履修することで、多様な領域に対する学問的関心を促し豊かな人間性を養う。

各科目の科目目標

・「理数系基礎」の科目目標

動物と人類の健康と福祉、高度獣医療の提供、人の健康と食の安全ならびに生命科学研究の発展に貢献する獣医学では、高等動物の生命科学に関する基礎学問の修得が不可欠である。理数系基礎科目では、獣医学教育の基盤となる理数系基礎学問を履修し、生命現象の基本原則に関する知識を習得する。

・「理数系アドバンス」の科目目標

「理数系アドバンス」では、「理数系基礎科目」で学んだ高等動物の生命科学に関する基礎科目の他に、多彩な理数系関連科目を学生諸君が自主的に精選し履修することで、動物と人類の健康と福祉、高度獣医療の提供、人の健康と食の安全ならびに生命科学研究の発展に貢献するための深く幅広い教養知識と洞察力を育む。

c 履修単位数・科目・履修方法等

共通教育科目の授業科目区分及び単位数等は次表のとおりで、修得すべき単位数及び履修方法については、次表のようになりますので、熟読のうえ履修してください。

表 共通教育科目の修得すべき単位数

区分	科目名	単位数	要件	開講学期				卒業要件	
				1 年次		2 年次			
				前	後	前	後		
大学教育導入科目群	基礎ゼミナール	獣医学基礎ゼミナール	2	必	*				必修科目
スポーツ健康科目群	スポーツ健康・基盤	健康・スポーツA	1	必	*				必修科目
		健康・スポーツB	1	選択必修		*			選択 1 単位修得
	スポーツ健康・発展	健康・スポーツC(シーズン)	1			*			
外国語科目群	基礎英語	英語総合	1	必	*				必修科目
		英語総合	1	必		*			
		英語総合	1	必			*		
		英語コミュニケーション	1	必	*				
		英語コミュニケーション	1	必		*			
		英語コミュニケーション	1	必				*	
人文社会科学科目群	人文社会科学	思想	2	選	*	*	*	*	選択 6 単位修得
		芸術学	2	選	*	*	*	*	
		文学	2	選	*	*	*	*	
		言語学	2	選	*	*	*	*	
		歴史学	2	選	*	*	*	*	
		法学	2	選	*	*	*	*	
		憲法	2	選	*	*	*	*	
		政治学	2	選	*	*	*	*	
		経済学・経営学	2	選	*	*	*	*	
		社会学	2	選	*	*	*	*	
		教育学	2	選	*	*	*	*	
		心理学	2	選	*	*	*	*	
	持続可能な環境・社会	環境A	2	選	*		*		選択 2 単位修得
		環境B	2	選	*		*		
		環境C	2	選	*		*		
		環境D	2	選		*		*	
		環境E	2	選		*		*	
		環境F	2	選		*		*	
		現代社会をみる視角	2	選	*	*	*	*	
		宮沢賢治の世界	2	選	*	*	*	*	
		危機管理と復興	2	選	*	*	*	*	
		地場産業・企業論	2	選	*	*	*	*	
		ボランティアとリーダーシップ	2	選	*	*	*	*	
		地域協創入門	2	選	*	*	*	*	
		社会連携学A	2	選	*	*	*	*	
		社会連携学B	2	選	*	*	*	*	
		地域協創A	1	選	*	*	*	*	
		地域協創B	1	選	*	*	*	*	
		地域協創C	1	選	*	*	*	*	
		地域協創D	1	選	*	*	*	*	
		地域協創E	1	選	*	*	*	*	
		地域協創F	1	選	*	*	*	*	
		地域協創G	1	選	*	*	*	*	
		地域協創H	1	選	*	*	*	*	
地域協創I	1	選	*	*	*	*			
キャリアを考えるA	2	選	*	*	*	*			
キャリアを考えるB	2	選	*	*	*	*			
日本事情A	2	選	*	*	*	*			
日本事情B	2	選	*	*	*	*			
多文化コミュニケーションA	2	選	*	*	*	*			
多文化コミュニケーションB	2	選	*	*	*	*			

表 共通教育科目の修得すべき単位数

区分	科目名	単位数	要件	開講学期				卒業要件	
				1年次		2年次			
				前	後	前	後		
配置大学特色科目群	理数系基礎	獣医細胞生物学	2	必	*				必修4単位 選択8単位 (計12単位) 修得
		基礎生物学実験	1	選		*			
		情報基礎A	2	必	*				
		情報基礎B	2	選		*			
	理数系アドバンス	物質科学	2	選	*	*	*	*	
		自然科学	2	選	*	*	*	*	
		材料科学	2	選	*	*	*	*	
		電気電子工学	2	選	*	*	*	*	
		エネルギー科学	2	選	*	*	*	*	
		数理情報科学	2	選	*	*	*	*	
		機械科学	2	選	*	*	*	*	
		環境・防災学	2	選	*	*	*	*	
		メディア情報学	2	選	*	*	*	*	
		農学基礎	2	選	*	*	*	*	
		食品健康科学	2	選	*	*	*	*	
		分子生物機能科学	2	選	*	*	*	*	
		分子生命医科学	2	選	*	*	*	*	
		農業環境工学	2	選	*	*	*	*	
		森林科学	2	選	*	*	*	*	
		動物科学	2	選	*	*	*	*	
		水産学基礎	2	選	*	*	*	*	
		データ分析演習	1	選			*		
統計的機械学習実践	2	選				*			

備考(1) 印の授業科目は必修とする。

(2) 獣医学部以外の学部の教養教育の授業科目は他学科科目として履修できるが、卒業要件単位数に参入しない。

(3) 健康・スポーツは2月～3月頃の集中開講科目。

大学教育導入科目群（2単位）

必修単位（2単位）

獣医学基礎ゼミナール（2単位）を修得すること。

スポーツ健康科目群（2単位）

必修単位（1単位）

健康・スポーツA（1単位）を修得すること。

選択（必修）単位（1単位）

次の科目から1科目（1単位）を修得すること。

なお、健康・スポーツCは、人数制限があること、開講しない年度があることに注意すること。

健康・スポーツB（1単位）

健康・スポーツC（シーズン）（1単位）

外国語科目群（6単位）

必修単位（6単位）

次の全科目の6単位を修得すること。

英語総合（1単位）

英語コミュニケーション（1単位）

英語総合（1単位）

英語コミュニケーション（1単位）

英語総合（1単位）

英語コミュニケーション（1単位）

人文社会科学科目群（8単位）

選択（必修）単位（8単位）

次の2つの区分から8単位を修得すること。

なお、区分ごとに修得しなければならない単位数があるので注意すること。

「人文社会科学」から6単位

「持続可能な環境・社会」から2単位

配置大学特色科目群（12単位）

必修単位（4単位）

次の全科目の4単位を修得すること。

「理数系基礎」の獣医細胞生物学（2単位）

「理数系基礎」の情報基礎A（2単位）

選択（必修）単位（8単位）

次の2つの区分から8単位を修得すること。

「理数系基礎（必修科目を除く）」

「理数系アドバンス」

履修上の注意事項

- 1 共通教育科目は、1・2年次の定められた時間帯に履修すること。
- 2 履修については、本冊子及び授業時間割表を参考にし、間違いのないよう注意すること。
なお、同一名称の授業科目は重複して履修できない。
また、履修にあたっては前期のみ又は後期のみの開設授業科目や年度により開設しない授業科目があるので注意すること。

4．専門教育について

履修上の留意点

1．本籍

本共同獣医学科においては、入学を許可された大学を本籍とします。

2．履修

履修は、原則として本籍の大学で行います。

3．受講の学年進行（進級制度）および獣医学共用試験

共同獣医学科では、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学および臨床獣医学を積み上げ式で履修することを理想とするため、カリキュラムマップ（コースツリー）に記載の順序で講義・実習の単位を修得することを基本とします。このため、共同獣医学科では進級制度を採用しています。

- 1) 毎年度、後期末において在籍する学年までに履修すべき必修の専門教育科目のうち講義科目の未修得単位数が 6 単位以下、かつ実習科目（行政体験実習を除く）の全てを修得した場合に進級できます。例えば 3 年生後期末時点で 1～3 年生で履修すべき講義科目全体のうち未修得単位数が 6 単位以下、かつ実習科目（行政体験実習を除く）を全て修得している場合に 4 年生に進級できます。
 - 2) 共通教育科目は、3 年生後期末までに卒業に必要な単位（30 単位）を全て修得する必要がある、必要単位数が不足する場合は 4 年生に進級できません。
 - 3) 4 年生後期から研究室に配属され、専修科目（獣医学演習、アドバンス演習および卒業研究）を履修することができます。ただし、卒業研究を履修するには、獣医学演習（4 単位）を修得していることが必要です。
 - 4) 4 年前期末に必修の専門教育科目のうち講義科目の未修得単位数が 6 単位以下、かつ実習科目（行政体験実習を除く）を全て修得している学生は 4 年生終了時に獣医学共用試験^{（注1）}を受験する資格を得ます。
 - 5) 5 年生に開講される「総合参加型臨床実習 ～ ^{（注2）}」を履修するには、4)に記載した獣医学共用試験に合格し Student Doctor の認定を受ける必要があります。なお、総合参加型臨床実習 ～ の履修にあたっては、当該実習に必要な経費をその都度徴収する場合があります。
- （注1） 獣医師の資格がない学生が動物病院等において実施される臨床実習で症例に接する場合には、必要不可欠な知識、技能、態度が備わっていることを動物の所有者に示し、その質を社会に保障する必要があります。臨床実習に必要な最小限の知識、技能、態度の到達レベルを評価するために NPO 法人・獣医系大学間獣医学教育支援機構が主催する試験（以下「獣医学共用試験」という。）を 4 年生終了時に行います。獣医学共用試験を受験するには、上記 4)を満たしている必要があります。獣医学共用試験の合格者は Student Doctor として認定されます。獣医学共用試験は vetCBT ならびに vetOSCE から構成されますが、その両方に合格しなければ Student Doctor の認定は得られません。なお、vetCBT および vetOSCE は、4 年生の間に追・再試がそれぞれ 1 回ずつ実施されます。獣医学共用試験の受験にあたっては、別途受験料が必要です。
- （注2） 本実習は、大学等の動物診療施設等において、指導教員の指導下で症例（一般市民が所有する動物）に接する臨床実習です。本実習は、農林水産省通知「獣医学生の臨床実習における獣医師法第 17 条の適用について」（平成 22 年 6 月 30 日付け）に基づいて実施されます。

4．相手大学における研究室所属および専修科目・専門科目の履修

若干名の学生^(注3)は、5,6年次に本籍でない大学の共同獣医学科の専修コースにおいて専修科目を履修することができます。その場合、本籍の大学において、4年次終了時までの学科専門教育科目のうち、必修科目のすべての単位および選択科目から5単位以上を修得していなければなりません。また、本籍以外の大学の研究室に配属する学生の選出は本籍大学が行います。

(注3) これらの学生は、本籍でない大学の共同獣医学科において、5,6年次の専門教育科目のすべてを履修することになります。

5．その他

本学科では、実習科目にかかる経費を別途徴収する場合があります。

獣医学部共同獣医学科専門教育科目

区分1	区分2	授業科目	単位数		履修年次												備考	
					1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次			
					必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎獣医学科目群	獣医学概論	1			○													
	獣医倫理	1			○													
	獣医倫理	1										○						
	獣医事法規	1									○	○						
	畜産学概論	2			○													
	家畜飼養学	2							○									
	生物統計学	1										○						
	運動器・神経系解剖学	2				○												
	内臓・脈管系解剖学	2					○											
	解剖学実習	1				○												
	解剖学実習	2					○											
	組織学	2					○											
	組織学実習	1					○											
	発生学	1			○													
	生理学	2			○													
	生理学	2				○												
	生理学実習	1				○												
	獣医遺伝育種学	1					○											
	実験動物学	2					○											
	実験動物学実習	1						○										
	基礎放射線学	2							○									
	獣医基礎生化学	2			○													
	獣医代謝生化学	1				○												
	生化学実習	1				○												
	基礎薬理学	2					○											
	統合薬理学	2						○										
	薬理学実習	1						○										
	小計		40															
	病態獣医学科目群	微生物学総論	2				○											
		病原微生物学	2					○										
		微生物学実習	1					○										
		微生物学実習	1						○									
		免疫学	2					○										
		寄生虫学	2						○									
		寄生虫学	1							○								
		寄生虫学実習	1							○								
		動物感染症学	2							○								
		家畜疾病学	2								○							
		動物病理学総論	3								○							
		動物病理学各論	2								○							
動物病理学各論		2									○							
動物病理学実習		1									○							
動物病理学実習		1										○						
小計		25																
応用獣医学科目群	公衆衛生学総論	1						○										
	疫学	2							○									
	人獣共通感染症学	2								○								
	食品衛生学(獣医)	2								○								
	食品衛生学実習	1									○							
	環境衛生学	2										○						
	公衆衛生学実習	1											○					
	毒性学	2												○				
	毒性学実習	1													○			
	動物衛生学	2														○		
	動物衛生学実習	1															○	
	野生動物学	1																
	魚病学	2																
	行政体験実習	1																
小計		21															時期選択	
実証獣医学科目群	内科学総論	1							○									
	外科学総論	1								○								
	呼吸器病・循環器病学	2									○							
	臨床病理学	2										○						
	臨床薬理学	1											○					
	小動物内科学実習・基礎編	1												○				
	小動物内科学実習・応用編	1													○			
	小動物外科学実習・基礎編	1														○		
	小動物外科学実習・応用編	1															○	
	消化器病学	2																
	麻酔学・手術学	1																
	軟部外科学	1																
	内分泌病・皮膚病学	2																
	泌尿器病・生殖器病学	1																
	獣医動物行動学	2																
	代謝病・中毒学	1																
	血液免疫病学	1																
	神経病・運動器病学	2																
	臨床腫瘍学	1																
	臨床栄養学	1																
画像診断学	2																	
画像診断学実習	1																	
眼科学	1																	
総合参加型臨床実習	1																	
総合参加型臨床実習	1																	
総合参加型臨床実習	1																	
総合参加型臨床実習	1																	
小計		34															集中講義(東京) 集中講義(東京)	

区分 1	区分 2	授業科目	単位数		履修年次												備考	
					1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次			
					必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
大動物臨床獣医学科目群	繁殖機能制御学	2																
	繁殖機能制御学実習	1																
	臨床繁殖学	2																
	臨床繁殖学実習	1																
	産業動物臨床学	2																
	産業動物臨床学	2																
	大動物臨床実習・基礎編	1																
	大動物臨床実習・応用編	1																
	馬臨床学	2																
	総合参加型臨床実習	1																
	総合参加型臨床実習	1																
	小計	16																
	選択科目	学外実習（国内）		1														時期選択
		学外実習（国外）		1														時期選択
人と動物関係学			2														集中講義（岩手）	
動物園動物学			2														集中講義（東京）	
動物介在学			2														集中講義（岩手）	
国際感染症制御学			2														集中講義（東京）	
宿主寄生体関係特論			1														集中講義（岩手）	
動物病院経営学			1														集中講義（東京）	
小計		5																
科専修	獣医学演習		4															
	アドバンス演習		4															
	卒業研究		10															
	小計		18															
計			154	5	・専門教育科目については岩手大学と東京農工大学で独自に開講する科目および遠隔講義システムを利用する科目を含みます													
合計			159															

獣医学部共同獣医学科 カリキュラムマップ

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通教育科目	前期 大学教育導入 スポーツ健康 外国語 人文社会科学 理教系基礎 持続可能な社会 理教系アパハンス	前期 内臓・脈管系解剖学 解剖学実習 組織学 組織学実習	前期 家畜飼養学	前期 獣医学法規	前期 獣医倫理 生物統計学	前期 後期	
基礎獣医学科目群	後期 運動器・神経系解剖学 解剖学実習 生理学 生理学実習 獣医基礎生化学 生化学実習	前期 内臓・脈管系解剖学 解剖学実習 組織学 組織学実習	前期 家畜飼養学	前期 獣医学法規	前期 獣医倫理 生物統計学	前期 後期	前期 後期
基礎獣医学科目	微生物学総論	基礎放射線学 実験動物学実習 統合薬理学 薬理学実習	寄生虫学 寄生虫学実習 家畜疫病学 動物病理学総論 動物病理学実習	魚病学 野生動物学 動物衛生学実習 環境衛生学 公衆衛生学実習 毒性学 毒性学実習	獣医倫理 生物統計学	前期 後期	前期 後期
専門教育科目		公衆衛生学総論	人獣共通感染症学 疫学 食品衛生学(獣医) 食品衛生学実習 毒性学 毒性学実習	行政体験実習	前期 後期	前期 後期	
実臨床医学科目		小動物臨床総論 外科学総論	内科学総論 外科学総論	小動物内科学実習・基礎編 小動物外科実習・基礎編 臨床病理学 臨床薬理学 呼吸器病・循環器病学	血液免疫病学 小動物外科実習・応用編 臨床腫瘍学 神経病、運動器病学 眼科学 画像診断学 獣医動物行動学 代謝病、中毒学 臨床栄養学	前期 後期	前期 後期
獣大 総合 科目群		人と動物関係学 動物園動物学 学外実習(国内) 学外実習(国外)	動物介在学 国際感染症制御学	繁殖機能制御学 繁殖機能制御学実習 産業動物臨床学 大動物臨床実習・基礎編 馬臨床学	総合参加型臨床実習 総合参加型臨床実習 総合参加型臨床実習	前期 後期	前期 後期
選 修 科 目		人と動物関係学 動物園動物学 学外実習(国内) 学外実習(国外)	動物介在学 国際感染症制御学	繁殖機能制御学 繁殖機能制御学実習 産業動物臨床学 大動物臨床実習・応用編 馬臨床学	総合参加型臨床実習 総合参加型臨床実習 総合参加型臨床実習VI	前期 後期	前期 後期
専修科目				獣医学演習	獣医学演習	前期 後期	前期 後期

国際教育科目について

国際教育科目について

1. 国際教育科目の理念と教育目標

岩手大学では、次の2種類の内容の「国際教育科目」を開講しています。

共修科目群

概要・目的：本学の海外交流協定大学からの交換留学生や日本語・日本文化研修留学生等と本学の学生が共修し、日本や国際社会についての知識を高め、それらについての討論、体験などを通じて、主体的に行動する態度を涵養することを目的とします。授業は日本語または英語で行われます。

対象：本学の海外交流協定大学からの交換留学生、本学の各学部在籍する日本人学生及び外国人留学生在が履修できます。本学の学部生がこの科目を履修した場合、専門教育科目の自由選択科目として卒業要件の単位が認められる場合がありますので、学務課に確認のうえ履修してください。

< 共修科目群リスト >

科目区分	授業科目名	単位数	対象学年	開講学期	備考
文化	Comparative Japanese History A	2	1	前期	英語
	Comparative Japanese History B	2	1	後期	英語
	Japanese History A	2	1	前期	英語
	Japanese History B	2	1	後期	英語
	Japanese Traditional Culture A - Ikebana A	2	1	前期	英語
	Japanese Traditional Culture B- Ikebana B	2	1	後期	英語
国際研修	海外研修事前事後指導	2	2	前期 後期	教養教育科目「海外研修 世界から地域を考える」履修者対象
	学内留学	2	2、3、4	後期	
	国際合宿	2	2、3、4	前期	集中

対象学年以上の学生が履修可能です。

備考欄に「英語」とある科目は英語で授業を行います。

備考欄に「集中」とある科目は集中講義で開講予定です。

講師等の都合により、開講しないことがあります。また、この他の科目が開講される可能性があります。各学期の開講案内を確認してください。

交換留学生専用科目群

概要・目的：本学に在籍する外国人留学生のために、初級から上級まで5レベルの日本語教育、および地域学や研究に関する国際教育を実施します。

対象：本学の海外協定大学からの交換留学生、日本語・日本文化研修留学生に単位が認められます。また、科目区分「日本語」の科目は本学に在学する全ての外国人留学生が受講することができますが、正規学部留学生には単位は認められません。総合科学研究科の正規留学生が「アカデミック日本語」*として登録した科目については単位が認められます。

< 交換留学生専用科目群 >

日本語

授業科目名	単位数	開講学期	備考
初級日本語総合	10	前期・後期	月～金×2 コマ
初級日本語総合漢字	1	前期・後期	月・木×0.5 コマ
初級日本語 会話	1	前期・後期	
初級日本語 表記・読解	1	前期・後期	
初級日本語 文法	1	前期・後期	
初級日本語 文法	1	前期・後期	
初級日本語 漢字	1	前期・後期	
初級日本語 会話	1	前期・後期	
中級日本語 文法	1	前期・後期	
中級日本語 会話	1	前期・後期	
中級日本語 読解	1	前期・後期	
中級日本語 漢字	1	前期・後期	
中級日本語 作文	1	前期・後期	
中級日本語 会話	1	前期・後期	
中級日本語 文法	1	前期・後期	
中級日本語 漢字	1	前期・後期	
中級日本語 アカデミック日本語	1	前期・後期	
中級日本語 読解	1	前期・後期	
中級日本語 作文	1	前期・後期	
上級日本語ビジネス日本語	1	前期・後期	
上級日本語アカデミック日本語	1	前期・後期	

国際教育

授業科目名	単位数	開講学期	備考
理系研究 A	2	前期	
理系研究 B	2	後期	
特別研究 A	3	前期	大学院科目
特別研究 B	3	後期	大学院科目
農学系研究	1	前期・後期	
農学系特別研究 1	1	前期・後期	大学院科目
農学系特別研究 2	2	前期・後期	大学院科目
農学系特別研究 3	3	前期・後期	大学院科目
芸術系研究	2	前期	
芸術系研究	2	前期	
芸術系研究	2	後期	
芸術系研究	2	後期	
芸術系特別研究	2	前期	大学院科目
芸術系特別研究	2	前期	大学院科目
芸術系特別研究	2	後期	大学院科目
芸術系特別研究	2	後期	大学院科目
岩手学 A	2	前期	
岩手学 B	2	後期	
個別研究	2	前期・後期	文系・芸術系科目

時間割、単位数、履修手続き、試験、成績評価等については、「岩手大学における国際教育科目に関する要項」その他に定めます。

2. 履修方法および開設授業科目

履修については、本冊子及び時間割を参考にし、大学からのお知らせ、中央掲示板および国際課前の掲示等に注意して、間違いのないように手続きをしてください。具体的な履修方法及び開設授業科目については、当該学期の開始までに別途掲示によりお知らせします。

各学部、学科、課程ごとにそれぞれ履修できる範囲及び修得すべき単位数等が定められていますので、各学部の説明の項を熟読してください。また、履修にあたっては前期のみまたは後期のみ開講する授業科目や、年度により開設しない科目があるので注意してください。

その他プログラムについて

数理・データサイエンス・AI教育プログラム（MDASH 認定教育プログラム）

本学は「岩手大学ビジョン 2030」の教育目標及び第 4 期中期目標・中期計画のアクションプランで「社会における様々なデータを数理・統計・情報を用いて解析し、社会における課題を発見し解決することができる能力を身につけるため教養教育と専門教育を融合させた数理・データサイエンス・AIに係る教育の体系化の確立」を掲げています。このアクションプラン実現のため、教養教育と各学部の専門教育では、数理・データサイエンス・AIに関する授業科目を開設しています。新しい時代の「読み・書き・そろばん」とされる数理・データサイエンス・AIに係る知識やスキルは、理系学部生の必須能力に留まらず、人文社会科学分野の文系の学生においても必須能力となっています。特に近年成長著しいAIは、今後の社会を大きく変革するゲームチェンジャーになると考えられています。このようなことから、本学では、在籍するすべての学生が関係する知識やスキルを習得し、実践的に活用できる能力を身につけられる教育プログラムとしています。

本学では、令和 4 年度に文部科学省から、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」認定制度(MDASH)による「リテラシーレベル」の認定を受けています。リテラシーレベルは、教養教育科目の必修科目で対応しているため、全学生が認定されます。また、MDASH「応用基礎レベル」の教育プログラムは、教養教育科目と各学部の専門教育科目で構成されており、学部の専門性を活かした教育プログラムとなっています。令和 6 年度には教育学部の教育プログラムが認定され、令和 5 年度入学生から適用されています。人文社会科学部、理工学部、農学部、獣医学部（令和 6 年度入学生までは農学部共同獣医学科）については令和 6 年度入学生から同教育プログラムを開始しており、令和 7 年度に認定されました。

なお、令和 7 年度から入学する理工学部、農学部の学生については、「応用基礎レベル」の科目がすべて必修科目となっています。「応用基礎レベル」の認定科目はいずれも基礎的な内容であり、データエビデンスに基づく問題解決能力等の実践力を形成するために、認定科目の多くを演習形式としています。選択的に履修することになる人文社会科学部、教育学部、獣医学部の学生の積極的な履修を期待します。

本教育プログラムにより身につけることのできる能力や対象授業科目、修了要件等は本学ホームページで確認してください。

リテラシーレベル



<https://www.iwate-u.ac.jp/campus/course/ds.html>

応用基礎レベル



<https://www.iwate-u.ac.jp/campus/course/mdash-AL.html>

IHATOVO グローバルコースについて

1. IHATOVO グローバルコースの理念と教育目標

岩手大学国際教育センターでは、岩手に顕在化する課題をグローバルな視点から理解し、解決に貢献し、発信する力の養成をめざし、「IHATOVO グローバルコース」を企画・運営しています。このコースの参加によって「知識・探求力」、「コミュニケーション力」、「人間力」を向上させ、地域社会、国際社会で活躍する人材を育成します。

2. コースの構成

コースは、A. 外国語、B. コミュニケーション、C. 国際教養、D. 実践の4つのカテゴリーに分類された、授業および課外活動で構成されています。各授業、活動に参加すると、Global Mileage が付与されます。

A～Dのすべてのカテゴリーのいずれかの授業、課外活動に最低1つ参加し、一定程度のGlobal Mileage を獲得した者にはIHATOVO グローバルコース履修認定証を授与します。コース認定されなくても、Global Mileage の獲得実績に応じて表彰します。また、海外研修、留学などの際にインセンティブを与えることがあります。

3. コースの評価・認定方法

認定要件を満たした学生には、学長から認定証を授与し、記念品を贈呈します。また、毎学期、学年別にGlobal Mileage 獲得上位者を表彰し、記念品およびオープンバッジを贈呈します。

* 一定以上のマイル獲得後、海外研修、留学に行く場合は、海外派遣奨学金、留学のための語学検定試験の受験料補助などの奨学資金を支給します。

* マイルの獲得実績を、海外研修、留学等の参加要件(成績、単位数、面接評価等)に加えることもあります。

< 認定方法 >

1) A. 外国語、B. コミュニケーション、C. 国際教養、D. 実践、の4領域すべての授業、活動をそれぞれ最低1つずつ履修、参加していること

2) マイルの合計が一定のマイル数に到達していること

ブロンズ = 800 マイル シルバー = 1200 マイル ゴールド = 2000 マイル

<認定基準>

総取得マイル数に応じ、ブロンズ、シルバー、ゴールドの3段階で認定します。

ランク	外国語	コミュニケーション	国際教養	実践	合計マイル数
ブロンズ	10マイル以上	10マイル以上	10マイル以上	10マイル以上	800マイル
シルバー	10マイル以上	10マイル以上	10マイル以上	10マイル以上	1200マイル
ゴールド	10マイル以上	10マイル以上	10マイル以上	10マイル以上	2000マイル

4. 履修方法および開設授業科目・課外活動

IHATOVO グローバルコース対象授業科目の履修については、国際教育センターホームページ、大学からのお知らせ、アイアシスタントおよび国際課（学生センターB棟）の掲示等で確認してください。

対象学年以上の正規学生が履修可能です。

備考欄に「集中」とある科目は集中講義で開講します。

講師の都合等により、開講しないことがあります。また、この他の科目が開講される可能性があります。各学期の開講案内を確認してください。

IHATOVO グローバルコース対象課外活動リスト及び詳細については、以下を参照願います。

<https://www.iwate-u.ac.jp/iuic/japanese-student/index.html>



イーハトーヴ協創コースについて

1. イーハトーヴ協創コースの理念と教育目標

岩手大学では、全学部の学生を対象とした共修プログラム（ ）「イーハトーヴ協創コース」を開講しています。

岩手大学（前身の盛岡高等農林学校）の卒業生である宮沢賢治の想い「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」(Well-being)を受け継ぎ、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指し、岩手で生きる、岩手と縁のある地域の多様な方々との協創活動を通じ、心の豊かさとイノベーションマインドを併せ持ち、高い専門性と実践力を兼ね備えたレジリエントな人材を育成します。

（ ）共修プログラムとは？

自身が所属する主専攻（学部）以外の分野を系統的に学修するプログラムです。

（1）コースの概要

イーハトーヴ協創コースでは、教養教育科目を中心に、デザイン思考、マーケティング、プロジェクトマネジメント、課題解決型インターンシップなど、アントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成や、地域のイノベーションに必要な創造性やチャレンジ精神を高めるための科目、企業・自治体との提携講義を学部横断型で学びます。

さらに地域における実践活動（正課外）も併せて評価することで、専門性と実践力を身につけます。

これらの学修過程を可視化するため、「地域協創マイレージ」を導入し、正課教育に加え正課外活動を含めてポイント化し、履修・研修経験を段階的に評価します（地域協創マイレージの取得状況は「アイフォリオ」で確認することができます）。

（2）コースの受講対象者、登録・認定方法

- ・ 本学の各学部 に在籍する日本人学生及び外国人留学生（非正規生を除く）が履修できます。
- ・ コースは自動エントリー制であり、履修をするための特段の手続きは不要です。
- ・ コースに関連する科目の単位を取得した場合や、課外活動を実施し所定の手続きを行った場合、「地域協創マイレージ」が自動的に付与されます。
- ・ 修了認定要件を満たし、「修了認定申請書」を自己申請すると、修了認定を受けることができます。

2. コースの構成

（1）正課教育

「イーハトーヴ協創コース関連科目」に指定されている以下の科目から受講します。なお、授業科目には、必修科目とコア（選択必修）科目、選択科目の3種類があり、段階ごとに修得すべき単位数が定められていますので、注意してください。

なお、正課教育で取得した単位は1単位 = 50 地域協創マイレージに換算します。

コースの構成

必修・選択の別		科目名称	科目区分
必修科目		地域協創入門	教養（地域）
コア科目 （選択必修）	1単位	地域協創 A・B・C・D・E・F・G・H・I	教養（地域）
	2単位	社会連携学 A・B、 キャリアを考える A・B キャリアデザイン実践 地域課題演習 A・B・C・D インターカレッジ・フィールド実践演習	教養（地域/地域課題演習）
選択科目（教養）		コア科目及び探究知科目（環境科目、地域科目）・実践知科目（地域課題演習科目）から選択	教養（環境/地域/地域課題演習）
選択科目（専門）		各学部専門科目におけるイーハトーヴ協創コース関連科目から選択	専門

開講科目

イーハトーヴ協創コース関連科目リスト及び詳細については、地域協創教育センターホームページを参照願います。

対象学年以上の学生が履修可能です。

備考欄に「集中」とある科目は集中講義で開講する場合があります。

講師等の都合により、開講しないことがあります。また、この他の科目が開講される可能性があります。各学期の開講案内を確認してください。

（2）正課外活動

- 地域課題解決プログラム、学内カンパニー、NEXT STEP 工房など本学が実施・支援する実践活動プログラムや、イーハトーヴ協創ラボ（TOVLAB）及びグローバルビレッジ等でのイベント参加、他大学や他機関との連携プログラム等について、以下の基準に基づき「地域協創マイレージ」を付与します。

< 地域協創マイレージの算定基準（標準的な目安） >

正課・課外の別	主な事業	付与マイル数
正課教育	イーハトーヴ協創コース関連科目 1単位科目	50
	イーハトーヴ協創コース関連科目 2単位科目	100
正課外活動	単発型のイベント	10
	3日程度の短期イベント	50
	3日以上～1週間程度の中長期イベント	100
	インターンシップ、通年の実践活動（メンバーの一人として参画）	150
	長期研修・長期インターンシップ、通年の実践活動（リーダーとして参画）	300

地域協創マイレージの対象事業等の詳細については、地域協創教育センターホームページを参照願います。

3. コースの評価・認定方法

- ・ 修了認定要件を満たし、「修了認定申請書」を自己申請すると、修了認定を受けることができます。
- ・ 修了が認定されると、成績証明書の特記事項欄に「イーハトーヴ協創コース（受講中または修了）」と記載されます。
- ・ また、本学が提供する学習プログラム等の修了者に対してデジタル修了証である「オープンバッジ」を付与する予定です。
- ・ 大学時代に経験した実践的な取組を就職や進学の際にアピールするものとしての効果が期待できます。
- ・ 認定証と併せ、就職活動等に活用可能なコース概要説明書を発行します。

(1) 認定方法

- ・ イーハトーヴ協創コース関連科目事業における主な修得能力を5つのカテゴリーに分類し、それぞれの「地域協創マイレージ」取得状況に基づき評価します。

マインドセット
ツール
キャリア
アクション
専門知識

- ・ 各カテゴリーから、該当する授業、活動を最低1つずつ取得していることが認定要件となります。
- ・ マイレージの認定について、授業は自動認定されますが、正課外活動については、認定申請が必要となる場合があります。申請方法はプログラム毎に案内します。
- ・ 地域協創マイレージの取得状況については「アイフォリオ」で確認することができますので、随時活用してください。

(2) 認定基準

総取得マイル数に応じ、ブロンズ、シルバー、ゴールドの3段階で認定します。

ランク	正課教育		正課外活動	総取得 マイル数
	単位数（必修・コア）	単位数（選択）		
ブロンズ	必修2、コア2 （200マイル）	専門2 （100マイル）	100マイル	400マイル
シルバー	必修2、コア4 （300マイル）	教養2、専門2 （200マイル）	300マイル	800マイル
ゴールド	必修2、コア8 （500マイル）	教養2、専門2 （200マイル）	500マイル	1200マイル

4. 履修モデル

- ・ イーハトーフ協創コースを受講する学生に対し、カリキュラムデザインの参考としてもらうとともに、コースの認知度や有用性を図りたい個別のキャリア像を意識した履修モデルを複数提示します。
- ・ 履修モデルはあくまでも参考提示であり、学生はコースに指定する科目を自由に受講することが可能ですので、履修の参考としてください。

なお、専門科目については、原則、所属する学部の科目を受講してください。

各履修モデルの詳細については、地域協創教育センターホームページを参照願います。

5. 履修方法および開設授業科目

イーハトーフ協創コースの履修については、本冊子及び時間割を参考にし、大学からのお知らせ、アイアシスタントおよび地域協創教育課（学生センターB棟）の掲示等に注意して、間違いのないように手続きをしてください。具体的な履修方法及び開設授業科目については、当該学期の開始までに別途掲示によりお知らせします。

各学部、学科、課程ごとにそれぞれ履修できる範囲及び修得すべき単位数等が定められていますので、各学部の説明の項を熟読してください。また、履修にあたっては前期のみまたは後期のみ開講する授業科目や、年度により開設しない科目があるので注意してください。

6. 本件担当

地域協創教育センター（学生センターB棟1階）

<https://www.iwate-u.ac.jp/rcec/ihatov-course.html>



関係法規等

岩手大学諸規則

1. 国立大学法人岩手大学学則
2. 国立大学法人岩手大学大学院学則
3. 岩手大学教養教育規則
4. 岩手大学における授業科目の履修登録単位数の上限に関する規則
5. 岩手大学における在学期間の特例に関する規則
6. 岩手大学における長期にわたる教育課程の履修に関する規則
7. 岩手大学における長期にわたる教育課程の履修に関する申し合わせ
8. 岩手大学転学部に関する規則
9. 岩手大学転学科及び転課程取扱要項
10. 岩手大学編入学取扱規則
11. 岩手大学編入学生の教養教育科目及び共通教育科目履修基準
12. 岩手大学再入学取扱規則
13. 岩手大学研究生規則
14. 岩手大学科目等履修生規則
15. 岩手大学外国人留学生規則
16. 成績評価基準について
17. 気象警報等の発令時等における授業等の取扱いに関する申合せ

関係法令（e-Gov 法令検索にリンク）

1. 日本国憲法
2. 教育基本法
3. 学校教育法
4. 教育職員免許法
5. 教育職員免許法施行規則
6. 小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律